

第6学年「家庭」学習指導案

授業者 岡部 雅子

2月22日（金）2階B室 10:00～10:40 話し合い10:55～11:45

1 単元名 学んだことを生かして一家庭科パンフレットを作ろうー

2 単元について

6年生は、3週間後に卒業式を控えている。この一年間子ども達は、最高学年であることを意識して、さまざまな行事や活動、学習に取り組んできた。特にたてわり班や通学班のリーダーとして下学年に接する時には、子ども達なりの自覚やがんばりが伝わってきた。3学期に入ってから、後輩に伝えられることはどんなことか、どのようにバトンタッチしていけばよいのかを考えて生活している。

家庭科の学習も、2年間でできることが増えた。5年生では、初めて針と糸を使って作品作りに取り組んだり、調理に挑戦したり、自分たちの学習環境であるお茶小の環境調査を行い、健康・快適・安全等の視点で課題を見つけて提案を考える学習を行ったりした。学んだことは、家庭でも実践し、家族のためにごはんを炊いたり、みそしるを作ったりした。

6年生では、自分の生活からテーマを見つけることに力を入れてきた。夏休みや家庭学習の期間を利用して課題としてきた「ホームプロジェクト」では、自分の生活が「もっと、あるいは、もう少し、こうなったらいいのになあ」という点（課題）を見つけてテーマを定め、家庭科での学びを生かして解決に取り組ませてきた。自分の生活を見直すこと、家庭科の学びとの接点を見出すこと、どうすれば解決できるのかを考えて実際にやってみることを、子ども達に求めてきた。

本単元では、こうしたこれまでの子どもたちの生活と学びを生かして、家庭科をこれから学ぶ現4年生に、自分たちが学んできたことを伝えるためのパンフレット作りに取り組みたい。5年生からのノートなど、記録をもとに学習したことを具体的に振り返り、ファミリーごとにパンフレット形式で表現する。出来上がったパンフレットを基に“てつがく”し、4年生に、家庭科の学習内容だけでなく、家庭科を学ぶ意味についても伝えられるようにしたい。

3 学習指導計画（家庭の授業として全8時間）

第1次 学んだことを振り返りながら、4年生のために家庭科パンフレットを作る。…6時間

第2次 パンフレットを発表し合い、家庭科を学ぶということはどういうことか、話し合う。

…本時2 / 2時間

（第3次 4年生に伝えに行く。…学年活動として1時間）

4 本時の学習について

（1）本時のねらい

- ・ファミリーで作った家庭科パンフレットを、聞く人に分かりやすく発表することができる。
- ・お互いに作った家庭科パンフレットを参考にしながら、家庭科を学ぶということはどういうことか、友達と共に考え、話し合うことができる。

（2）予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 家庭科パンフレットを発表し合う。	・前時に発表が終わらなかったファミリーが発表する。
2 家庭科を学ぶということはどういうことか、友達の見解を受け止めながら、学級全体で話し合う。	・問いの問い方はあらかじめ子ども達と相談しておく。

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

2年間の学習のまとめとして、6年生の最後にどんな学習を位置づけるのがよいか。